

【C年】

大齋節第一主日

四十日四十夜、わたしたちのためにみ子を断食させられた主よ、どうか己に勝つ力を与え、肉の思いを主のみ霊に従わせ、常にわたしたちがその導きにこたえ、ますます清くなり、主の栄光を現すことができようように、父と聖霊とともに一体であって世々に生き支配しておられるみ子イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン

司祭 「聖書のみ言葉を聞きましょう」

会衆は着席する。

旧約聖書

朗読者 「旧約聖書は申命記第二十六章五節から」

5 あなたはあなたの神、主の前で次のように告白しなさい。「わたしの先祖は、滅びゆく一アラム人であり、わずかな人を伴ってエジプトに下り、そこに寄留しました。しかしそ

こで、強くて数の多い、大いなる国民になりました。6 エジプト人はこのわたしたちを虐げ、苦しめ、重労働を課しました。7 わたしたちが先祖の神、主に助けを求めると、主はわたしたちの声を聞き、わたしたちの受けた苦しみと苦痛と虐げを御覧になり、8 力ある御手と御腕を伸ばし、大いなる恐るべきこととするしと奇跡をもってわたしたちをエジプトから導き出し、9 この所に導き入れて乳と蜜の流れるこの土地を与えられました。10 わたしは、主が与えられた地の実りの初物を、今、ここに持って参りました。」

朗読者 「旧約聖書を終わります」

詩編

腰掛けたままで、一節ずつ交互に唱える。

第九一編 九節〜十五節

9 あなたは主を逃れ場とし、いと高き方を隠れ家とした
10 それゆえ、不幸はあなたに臨まず、災いはあなたの

天幕に近づかない

11 神があなたのためにみ使いに命じ＝ あなたの進むすべ

ての道を守られる

12 石に足を打ちつけないように＝ 神のみ使いは手であな

たを支える

13 あなたはししとまむしを踏みつけ＝ 若じしと蛇を踏み

にじる

14 「わたしに頼る者をわたしは救い＝ わたしを知ってい

る者をわたしは守る

15 呼び求める者にわたしはこたえ＝ 悩みのときともに

いて、救いと誉れを与えよう

使徒書

朗読者 「使徒書はローマの信徒への手紙第十章八節から」

8 「御言葉はあなたの近くにあり、

あなたの口、あなたの心にある。」

これは、わたしたちが宣べ伝えている信仰の言葉なのです。

9 口でイエスは主であると公に言い表し、心で神がイエ

スを死者の中から復活させられたと信じるなら、あなたは救

われるからです。10 実に、人は心で信じて義とされ、口で公

に言い表して救われるのです。11 聖書にも、「主を信じる者

は、だれも失望することがない」と書いてあります。12 ユ

ダヤ人とギリシア人の区別はなく、すべての人に同じ主がお

られ、御自分を呼び求めるすべての人を豊かにお恵みになる

からです。13 「主の名を呼び求める者はだれでも救われる」

のです。

朗読者 「使徒書を終わります。」

一同立つ。

ここで聖歌を歌う。

福音書

司祭 「主は皆さんとともに」

会衆 「また、あなたとともに」

司祭 「聖ルカによる福音書第四章一節以下に記された主

会衆 イエス・キリストの福音。主に栄光」

「主に栄光がありますように」

1 さて、イエスは聖霊に満ちて、ヨルダン川からお帰り

になった。そして、荒野の野の中を霊によって引き回され、2

四十日間、悪魔から誘惑を受けられた。その間、何も食べ

ず、その期間が終わると空腹を覚えられた。3 そこで、悪魔

はイエスに言った。「神の子なら、この石にパンになるよう

に命じたらどうだ。」4 イエスは、

『人はパンだけで生きるものではない』
と書いてある』とお答えになった。

5 更に、悪魔はイエスを高く引き上げ、一瞬のうちに世界のすべての国々を見せた。6 そして悪魔は言った。「この国々の一切の権力と繁栄とを与えよう。それはわたしに任ざれていて、これと思う人に与えることができるからだ。7 だから、もしわたしを拝むなら、みんなあなたのものになる。」

8 イエスはお答えになった。

『あなたの神である主を拝み、

ただ主に仕えよ』

と書いてある。」9 そこで、悪魔はイエスをエルサレムに連れて行き、神殿の屋根の端に立たせて言った。「神の子なら、ここから飛び降りたらどうだ。10 というのは、こう書いてあるからだ。

『神はあなたのために天使たちに命じて、

あなたをしつかり守らせる。』

11 また、

『あなたの足が石に打ち当たることのないように、

天使たちは手であなたを支える。』

12 イエスは、「あなたの神である主を試してはならない」と言われている』とお答えになった。13 悪魔はあらゆる誘惑を終えて、時が来るまでイエスを離れた。

司祭 「主に感謝」